

**学校教育目標**  
豊かな心と知性を持ち、健康  
でやる気のある、21世紀に  
生きる子供の育成

# 杉祥々園

令和4年1月21日 発行  
日光市立今市第三小学校  
学校だより  
児童数：529名



## 今年もよろしくお願ひいたします

いよいよ2022年がスタートしました。新年明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症対策のため、いろいろとご協力いただきありがとうございました。今年も、子どもたちにとって一段と素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。保護者の皆様、地域の皆様、関係の皆様のお力添えをいただきながら、今年も明るく、優しく、たくましい子どもを育て参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

素直な子、やんちゃな子、おとなしい子、活発な子・・・みんな違ってみんな良い。今年も子どもたちが自分の幸せに向かって、真っ直ぐに伸びていきますように。



### 「自己肯定感の向上を」

自らの存在をかけがえないものと肯定的に受け止める感情、それが自己肯定感です。この感情が高くなれば、少々のことではめげない意思力、そして自らの潜在的な伸びしろを意欲的に拓こうとする行動力が強くなると言われています。

その向上を図るための推進力は、もちろん子どもたち自身の努力ですが、この推進力に他の力が加われば、子どもたちの自己肯定感は加速度的に向上するのです。その力とは、保護者の皆様の優しい言葉かけや、私たち教職員の働きかけ（児童・生徒指導）なのです。

それでは、どのような働きかけが大切なのでしょう？その姿勢を考えると、参考となるものがあります。それは、放浪の画家と呼ばれた山下清さんが通った学校、八幡学園の標語「踏むな、育てよ、水そそげ」という言葉です。これは、その子らしさ、その子の伸びしろを踏まず、育てなさい。そして、その子の成長に必要な水を注いであげなさい・・・という教えです。

この教えを踏まえ、今三小では今年も次のようなことを大切にしていきたいと思ひます。

- ① どんなときも「あなたの味方」という思いを子どもたちに伝えること
- ② 子どもたちが達成した成功体験を見逃さず、できたことを正しくほめること
- ③ 一人ひとりの子どもなりの努力を成果だけでなく、過程も含めて認め、評価すること
- ④ 子どものお受け止め、受容すること
- ⑤ 「ありがとう」という感謝の気持ちを、言葉にして伝えること

この3学期が、子どもたち一人ひとりにとって楽しい日々になるよう願っています。

### 2月の予定

1	火	安全点検 クラブ見学3年
2	水	職員会議
3	木	自転車交通安全教室6年
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	クラブ反省
9	水	授業参観支部別懇談
10	木	2年スケート教室
11	金	(祝)建国記念の日
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	委員会反省
16	水	現職教育
17	木	
18	金	PTA運営委員会・理事会・指名委員会
19	土	
20	日	
21	月	↓ まとめのテスト
22	火	
23	水	(祝)天皇誕生日
24	木	4年スケート教室
25	金	6年生を送る会
26	土	
27	日	
28	月	新登校班下校 月末統計

## 12/3(金)持久走記録会より

12月3日(金)絶好のコンディションの中で、校内持久走記録会を開催しました。1・2年生は全員3分間の時間走(3分間でどれだけ走れるか)。3・4年生は5分間の時間走または、希望者による予選を行い1500mの距離走。5・6年生は7分間の時間走または、希望者による予選を行い2000mの距離走を実施しました。現在の新学習指導要領(体育編)で小学校における持久走は、必ずしも速く走ることが目標ではなく、「一定の速さでのかけ足(1~4年)」、「無理のない速さでの持久走(5・6年)」について取り組み、多様な動きをつくる運動や体力を高める運動についての技能を高めることになっています。完走した子どもたちははじける笑顔が印象的でした。



### 各学年距離走第1位入賞者

学年性別	氏名
3年男子	横山 聖空
3年女子	松崎 結愛
4年男子	福田 敏士
4年女子	沖本 菜摘
5年男子	湯澤 圭汰
5年女子	柏木 日彩
6年男子	加藤 雅大
6年女子	蛭牟田 理子

# 12/16から、今年もスケート学習が始まりました



昨年度は栃木県でも緊急事態宣言が出されたため、多くの学校でスケート教室は中止となってしまいましたが、今年は12月16日無事にスケート学習をスタートすることができました。この日は6年生が今市青少年スポーツセンターのスケートリンクへ。6年生にとっては、小学校での最後のスケート教室でした。久しぶりのスケートで初めはよちよち歩きの人もいましたが、終わる頃には元気に滑れている人が多かったようです。中学校ではスケート教室はありませんが、ぜひ冬場の体力作りとしてスケートにもチャレンジして欲しいと思います。

## 1/13 邦楽スクールコンサートより(5年)

1月13日(木)和久文子先生(琴)、福田智久山先生(尺八)と前川智世先生(琴)の3名を講師にお迎えして、5年生が『邦楽スクールコンサート』を体験しました。先生方に丁寧に教えていただき、琴(さくらさくら)の演奏に挑戦したり、尺八の歴史について学んだりすることができました。また、教科書に載っている「春の海」や流行曲のアレンジ(紅蓮華)、自作曲の八咫鳥(やがら)なども聴かせていただきました。工夫した素晴らしい体験活動や演奏をありがとうございました。普段はなかなか触れることのできない和楽器とのふれあいはどうだったでしょう?この貴重な体験から、邦楽の素晴らしさを肌で感じ取って欲しいです。

~~~~~ <代表児童の感想より> ~~~~~

**福田花恋(5-1)** 琴は竜を表現していて各所各所に「龍頭」や「竜尾」など、竜の体の名前がついていることを知りました。尺八の都山流という流派を教えてもらいましたが、まだ知らない流派について中学校の邦楽スクールコンサートで知りたいです。

**我妻陽葵(5-2)** 今日には演奏して下さいありがとうございました。音楽の時間だけでは分からないことを色々教えて下さったのですごく楽しかったです。琴のときは、演奏のし方を優しく教えて下さったので、思ったより上手に弾けました。演奏の音もすごくきれいでした。

**田澤紀依(5-3)** 琴はあまりさわったことがなかったけれど、ていねいに説明して下さいだったので覚えられました。尺八は長さが長いほど低く、短いほど高い音が出ることが分かりました。最後、演奏をきいたとき、音が高くなったり低くなったりしていて、たくさん練習して心が通じ合っていないとできない事だと思いました。



お琴と尺八のアンサンブル

## 感染症防止に伴う対応(お知らせ)

県の警戒度がレベル2【警戒を強化すべきレベル】に引き上げられたことや市内の感染状況を踏まえ、下記の期間、新型コロナウイルス感染症対策は学校の行動基準「レベル2」の対応で実施します。なお、今後の感染状況により期間延長や対応が変更になる場合もあります。

○ 1月13日(木)から1月31日(月)までの期間

- (1) 感染源を絶つこと
  - ① 発熱等の風邪の症状がある場合等には無理して登校しない(出席停止扱い)。  
同居家族に発熱等の風邪症状が見られる場合も登校を控えてください。
  - ② 登校時の健康状態の把握  
児童本人のみならず、同居の家族も毎日健康状態をご確認下さい。
- (2) 各教科等や部活動等の感染予防対策  
リスクの高い活動については、「近距離での活動」「向かい合っでの発声」をできるだけ避け、手指の消毒等を行い、実施について慎重に検討します。また、これまで同様、3密(密閉・密集・密接)を避け、定期的な換気の実施や会話時のマスク着用等の基本的な感染対策を徹底して教育活動を進めていきます。
- (3) 校外活動・学校行事等  
まん延防止等重点措置、緊急事態宣言が発出された場合、原則中止とします。



※児童本人や同居家族が感染の疑いでPCR検査等を実施することになった場合、直ちに学校に連絡をお願いします。また、検査の結果についても速やかにお知らせ下さい